

平成26年度

熊本市立小・中学校夏休みプール開放事業

「危機管理研修会」

モデル研修

平成26年5月19日（月）

熊本市役所14階大ホール

学校で危機管理研修会を行う意義

○保護者の危機管理意識の高さ

・ ・ ・ ・ **楽しいプール開放のカギ**

○学校で行うことによって

・ ・ ・ ・ **危機管理意識の共有化**

○他のPTA活動にも好影響

どのように研修を行うのか

○時間のめやす

30分程度

○内容

①「監視マニュアル」の説明

②各学校の実情に応じた「運営マニュアル」
の説明

研修を行う上での留意点

○危機管理意識の向上が目的

「真剣な雰囲気」を大切に

○遅れてきた保護者への対応

- ・ 自校でフォロー
- ・ 健康教育課主催のフォロー研修の受講

○資料等の準備

研修内容にあった持ち帰り資料の準備を

モデル研修スタート

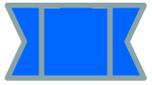


このマークがついている箇所は、学校の実情に応じて作成する。



〇〇小学校プール開放運営委員会

危機管理研修会



監視体制

- 保護者運営リーダー 1人
- 保護者監視員 4人以上
- 専属監視員 2人以上



遊泳制限

- 1コマ遊泳者数 80人以内

監視マニュアル

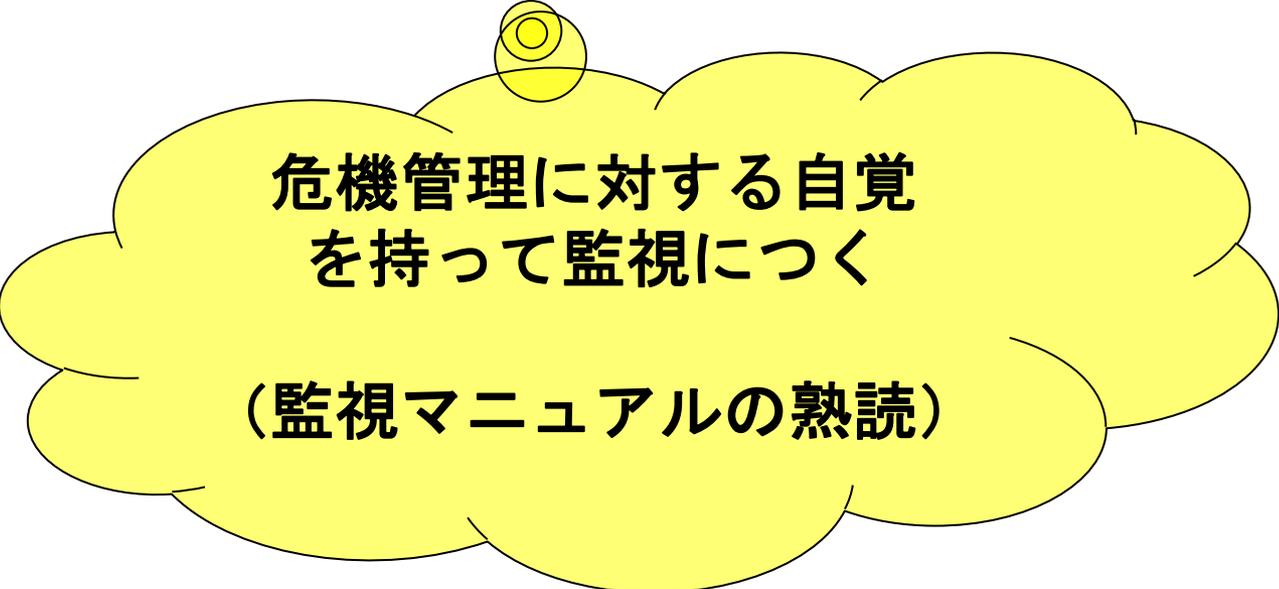
事故を未然に防ぐ安全管理と意識

事故が発生した時の対応

プール監視の心得

○安全のための監視と指導

○事故発生時の救助活動



危機管理に対する自覚
を持って監視につく

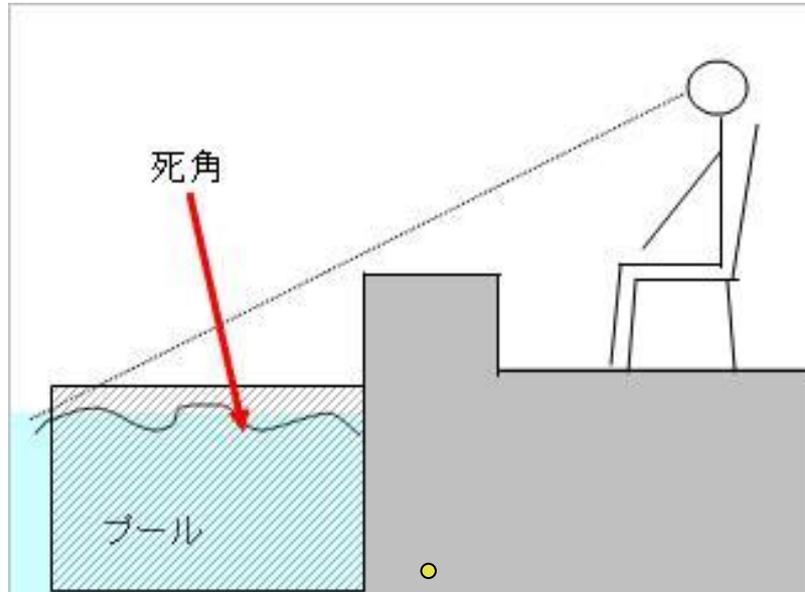
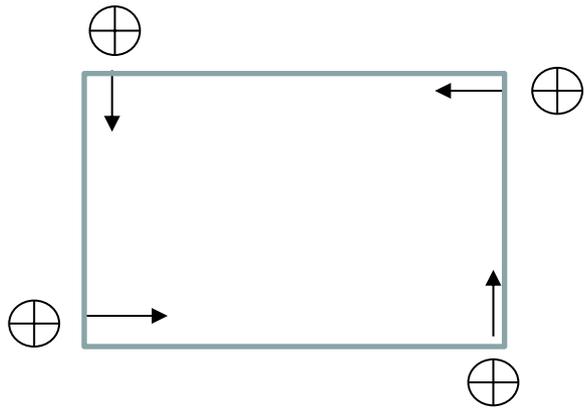
(監視マニュアルの熟読)

①監視者の事前準備

- 監視の前日には、睡眠をしっかりとる
- いつでも、プールに入れる服装
- 自分でこまめに水分補給を

体調管理をしておく

②監視位置



異常を発見した監視員は、躊躇なく別の監視員に声をかけるとともに、救助に向かって下さい。



は専属監視員



は保護者監視員



は保護者運営リーダー

監視台



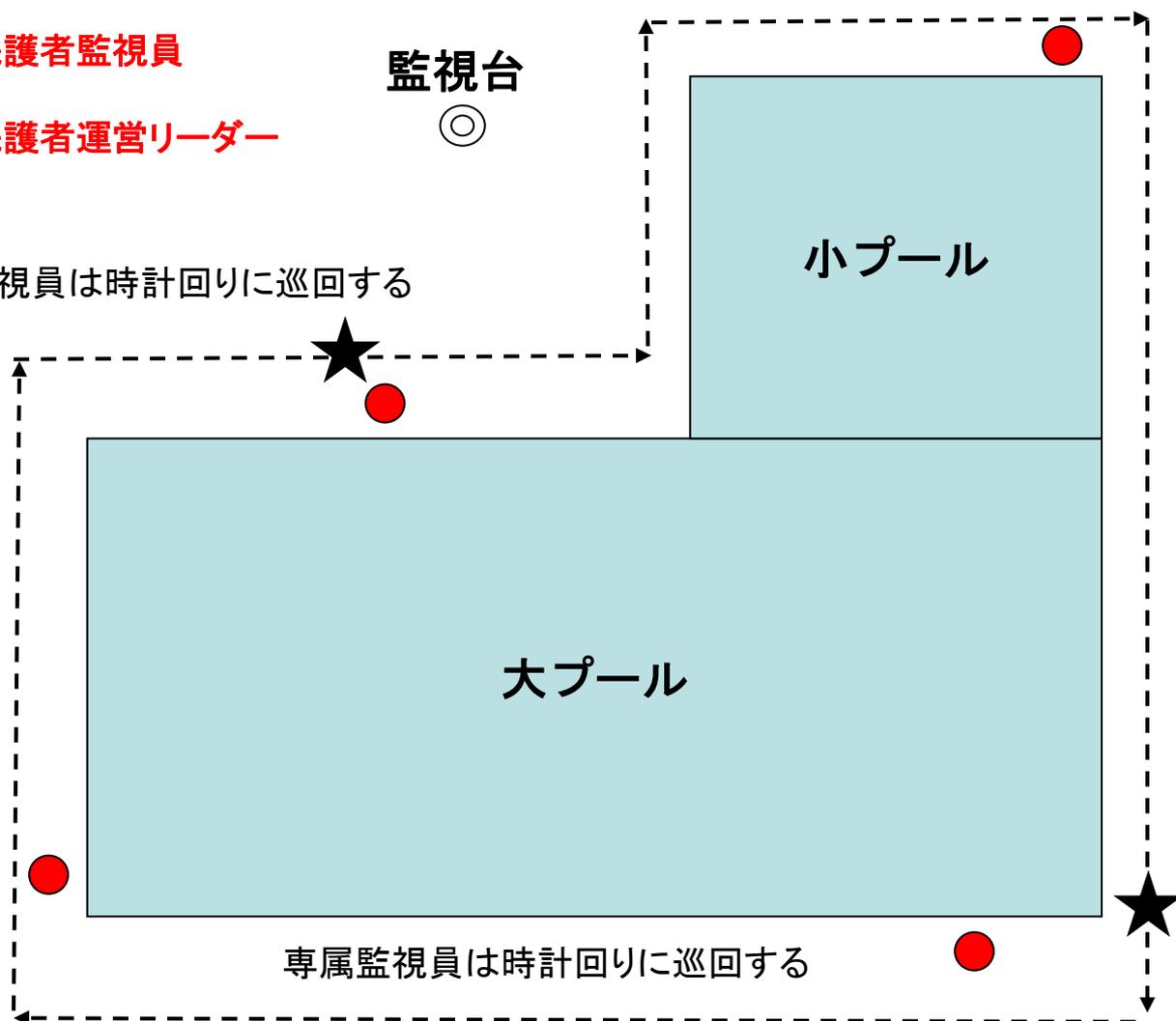
小プール

大プール

専属監視員は時計回りに巡回する



専属監視員は時計回りに巡回する



③監視の要点

- 水中に顔を付けている子に注視
顔を上げたことを確認
- 水上だけでなく水中にも目配り
- 児童の顔色・表情の確認
- 一点だけに集中せず、広い範囲を監視
- 周りの音・声にも気を配る

④児童への指導

【禁止事項】

○飛び込み

○プールサイドを走る

○悪ふざけ（突き飛ばし、溺れるまね）

 ○その他、学校で禁止しているきまり

【指導の仕方】

- 大きな声で注意（プールは広い）
- 近くに来させて、同じ目線で、分かりやすく説明して注意

※何度も禁止行為を繰り返す児童は、退場させる（**厳しい態度で**）

⑤緊急時の対応

自分の役割はもちろん、他の係の役割も十分理解しておく

【監視員の役割】



要救護児童の救護に
全力を尽くす

【保護者運営リーダー】

- プール開放中止の判断
- 保護者監視員への指示
- 救急の場合 ・ ・ 学校職員との連携

【119番通報係】

- 「119番」をかける
- あわてず、指示されたとおり
正確に伝える

「救急です。」

「〇〇小学校のプールです。」

「・・・・・・・・」

【A E D 操作係】

- A E D 設置場所の確認
- A E D を持ってくる
- 体を拭き、A E D の電源を入れる
- 音声ガイドに沿ってパッドを装着

※あわてず、確実に
救急車到着まではずさない

【児童誘導係】

- 要救護者から離れた広い場所に整列
- 更衣をさせる
- プールカードで再確認

※学校の先生と連携
子どもを落ち着かせ安全
に帰宅させる

【学校通報・救急車誘導係】

- 事前に経路の確認
- 職員室に行き、応援を要請
- 救急車通用口の確保
- 救急車を案内する

※他の車や人を入れさせない

【学校の役割】

- 要救護児童の保護者への連絡
- 救護処置
- 関係機関等に緊急連絡・報告
- 児童の管理（下校指導）
- 救急車誘導 など

事故対応マニュアル

緊急事故発生



緊急時の連絡先

	電話番号	住所
〇〇小学校		
健康教育課	328-2728	熊本市中央区手取本町1-1
学校医()		
学校薬剤師()		
保健福祉センター		



運営マニュアル

プール開放の流れを事前に把握しておく



① ○○学校のプール開放の期間

(1) 開放期間

平成26年○月○日～○月○日

(2) 開放時間

1コマ目 午前○時～○時

2コマ目 午後○時～○時



② ○○学校のプール開放運営委員会の組織

役職名	氏名	職名	備考
顧問	○○○○	学校長	
委員長	○○○○	PTA会長	
副委員長	○○○○	PTA副会長	
副委員長	○○○○	教頭	
会計	○○○○	PTA会計担当	
委員	○○○○	PTA担当委員会委員長	
	○○○○	PTA担当委員会副委員長	
	○○○○	体育主任	
	○○○○	養護教諭	
	○○○○	PTA○学年委員長	
	○○○○	PTA○学年委員長	



③ 専属監視員

氏名	所属	連絡先
〇〇〇〇	〇〇警備会社	〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇〇〇		
〇〇〇〇		

④ 保護者監視員

- 1人でも欠けた場合開放を中止する
- 都合により業務につけない場合は、運営委員長及び保護者運営リーダーに連絡し、代理を当てることができる

⑤ 安全対策

(1) バディ体制(2人組)

入水前、休憩時、遊泳終了後の3回バディ確認

(2) 遊泳制限

① 水深

大プールを90cm以下にして使用

② 人数

○地区、○地区・・・の8つの地区に分け、80人以内に振り分け

⑥ 保護者監視員の業務内容

【入水前】

- トイレ、更衣室等の清掃
- 係の名札を着用
- 開放前の「運営・監視ミーティング」を行う
- 児童のプールカードで人数と健康チェック
- 児童の集合整列の補助（バディ体制）

【遊泳中】

- プールの四隅を基本とする監視位置から
集中して監視する
- 場合によっては直接指導
- 緊急時には対応を

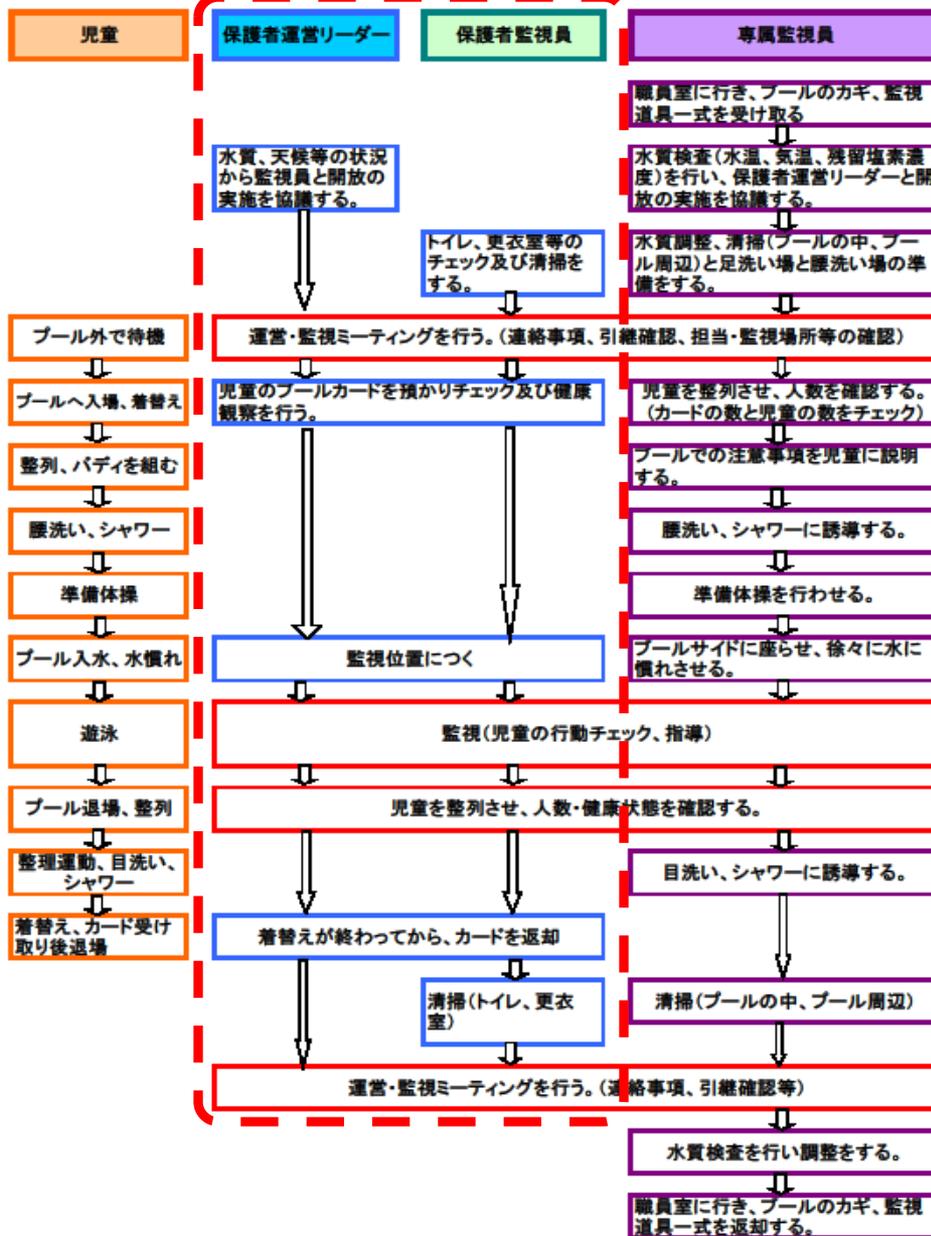
【終了時】

- 児童を**ボディ**で**整列**させる
- プールカードの数と児童数のチェック
- 児童の健康状態を確認
- 子どもたちを帰した後、開放後の
「**運営・監視ミーティング**」を行う。



プール開放の手順及び職務

別紙2



⑦ 運営・監視ミーティング

○1コマごとに必ず

○「保護者運営リーダー」が中心となって、
「保護者監視員」と「専属監視員」の3者で

○開放前（児童入場前）

と開放後（児童退場後）の2回

【開放前のミーティングの方法】

- 当番の「人数」と「名前」の確認
- 当番の「係担当」と「監視場所」の確認
 - ※AEDの場所の確認、携帯電話の手渡し
- 遊泳制限やルール等の確認
- 前回の開放での引き継ぎ事項の確認

【開放後のミーティングの方法】

- 本日の監視・運営及び児童等に関する振り返りをする。
- 振り返りを「プール日誌」に記録し、次のプール開放の引継ぎ事項とする。

最後に



監視員の皆様の高い危機意識と適切で迅速な行動が必要です。

安全・安心で子どもたちにとって楽しい思い出になる「〇〇小学校プール開放」になるようよろしく願います。